



散歩の魅力に、出会いがあるのかもしれないね。

一年ほど前に最愛の愛犬Daisyをまだ6歳と言う若さで亡くし、1年以上も落ち込んでおりました。その間に何度となくまた別の犬を飼ってはどうかといわれたりもしましたが、なかなかDaisyの残像がいたることに感じられ、なかなか新しい犬を飼う事に決断出来ていなかったのですが、妻が、ウクライナ戦争とかオーナーが病死のため、行き場を失った犬がDog Homeに沢山いるとのニュースを耳にし、やっと最近、新しい家族の一員になってくれる犬を探してみようかと話し始めたばかりです。

これまで買っていた犬はすべて子犬の頃から我が子のように世話をしながら、最後に息を引き取るその時まで、我々の人生そのものと言ってよいほどの家族のメンバーでした。最後のお別れをするしみは、今も鮮明に記憶に残っているだけでなく、もうお別れは嫌だと思われた方もいらつしやるとおもいます。

でも、でもです、やはり愛犬と一緒に早朝に野原を散歩したり、海辺や湖畔を散歩しながら、愛犬が水に飛び込んだりするのを見たりする嬉しさは、やはり愛犬が居ればこそ。しかし、若いとは言えない年になつてきている筆者としては、子犬からまた一緒にこれから15年もの間、健康でいられるのか？ 愛犬を最後の最後まで面倒をみれるのか、なにかと自問自答している筆者です。犬を飼うという事は、やはりそこまで考えていく必要があるし、義務もある

のではないだろうか。



そうこう思案しているところ、戦争、災害、オーナーの不良の事故、病気で、やむなくDog Homeに預けられている犬をせわしてみようかと言いつ出した妻のアイデアに日々気持ち傾いている筆者です。

子犬は可愛いですが、血統書付きのブリーダーからの名犬はだれしも一度は欲しいものです。ただ人間のかつてでEoneにいられた犬や、自然災害とかEoneを失った犬もたくさんいる事を読者の皆さんにも知っていただきたいです。来年にはDog Homeから、あらたに人生のパートナーになつてくれる犬が見つかり次第、報告します。

この度もコラムを読んでいただき有難う

おまけのニュース

ございました。

	● 日本	✚ スイス
人口	124,000,000	9,000,000
世帯数	54,000,000	3,800,000
犬ペット頭数	6,800,000	550,000
人口と犬頭数比率	2,3 2.3人だ一人は犬を飼っている	2,4 2.4人だ一人は犬を飼っている
世帯数と犬頭比率	7,9 7.9世帯に一世帯は犬を飼っている	6,9 6.9世帯に一世帯は犬を飼っている

多少の誤差はあるにせよ、上記のデータから、日本とスイスのペット犬頭数の人口比率は大変よく似ているようです。世帯数に対する比率は、統計的にはスイスの家庭の方が、日本に比べて犬を飼っている比率が高いようです。さすがハイジューの国ですね。



写真/筆者(右)と妻

profile 小橋敏弘

年齢、もうすぐ70歳。  
1975年からヨーロッパ在住。その大半はスイスの企業にてサラリーマン生活をし、64歳からリタイア生活をエンジョイしています。  
学生時代をイギリスで過ごし、大学卒業後はスイスに移住。孫6人に囲まれている爺さんです。

趣味は何にでも興味を持ち、最近ではChat GTPを駆使して、幅広い分野を勉強中。  
母国語日本語を再勉強しながら、ドイツ語、英語も同時に駆使し、ヨーロッパ各国に住んでいる友達とコミュニケーションを取っています。  
唯一、体を動かす趣味は、ここ10年ほど毎週

一回ぐらいのペースです。一回ぐらゐのペースです。一回ぐらゐのペースです。一回ぐらゐのペースです。一回ぐらゐのペースです。